

議会運営委員会 視察報告書

令和7年1月16日（木）～17日（金）

群馬県・埼玉県

議会運営委員会委員 中村政義

1 群馬県吉岡町議会

「予算常任委員会の運用について」

全ての予算及び決算に関する審査並びにそれに関連する事務の調査を行うことを目的として、予算決算常任委員会を、議長を除く議員全員で構成し行っている。他の常任委員会の委員長及び委員も一委員となるため、予算審査の協議の内容も十分把握できるメリットはある。しかし全員での審査となるので、時間的にはかなりかかると思われることはデメリットである。

「議会DXへの取り組みについて」

吉岡町議会タブレット端末使用に関する規定が策定されている。

何回かの研修講座をへて、すべての議員が使用できるように行われ、導入前と比較し約7割のペーパーレスとなっている。

平成31年に「吉岡町議会手話通訳及び要約筆記実施規定」を策定し、聴覚障害者等が開かれた議会の実現に進み始めた。また令和5年9月から議事録体制支援システムを導入、音声字幕表示機能も付属し傍聴席でも活用できるようになっている。実際に視察の質疑応答を音声字幕表示してもらったが、字幕表示のスピードと正確さには驚いた。

「その他」

2 埼玉県嵐山町議会

「予算・決算特別委員会の運用について」

平成18年9月定例会からは、「本議会方式」から「特別委員会方式」へと審議方法を変更した。議長を除く全員が特別委員会員となり、副議長が委員長となる。質疑については、事前通告制となっている。事前通告制のため議論は成約される部分はあると思われる。予算・決算特別委員会は会期中期間限定で、補正予算については、本会議で即決としている。補正予算でも何億となるものもあるのでそれですべてうまくいくのか疑問である。

「議会DXの取り組みについて」

タブレットの活用は現在議員への貸与はなく、委員会のみ自己の端末使用可で、本会議への持ち込みは不可となっている。

箕輪町はそういう面からすると恵まれているが、規定等を制定して充分利用できるよう進めていきたい。

「町への提言書提出について」

議会基本条例に基づき行われている。継続的に議会改革を実践。決算審査の結果を次年度の予算に反映させる取り組み試行する。

箕輪町では議会基本条例の検証が充分されていない。検証をもとに活かした取り組みへとつなげたい。

「その他」

3 全体を通じて